

サイエンスアゴラ 2026 募集説明会 Q&A

Q. 審査基準としてこれまでより重視されるという「対話」の要素について教えてください。具体的にどのようなものを「対話」とおっしゃっているのか、別の言葉でご説明いただけないでしょうか。 これまでにも対話は根底にあったと記憶していますが、先ほどのスライドの中でも過去の出展についての審査委員の方のコメントにも「良い対話ができている」というような項目がほぼなかったもので、補足をお願いしたいです。

A. こちらはサイエンスアゴラでこれまでも大切にしてきた考え方をあらためて明示したものです。

単なる説明や一方向の情報提供ではなく、立場や専門の異なる方同士が問いを持ち寄り、相互に学び合いながら、未来について共に考えるプロセスそのものが「対話」と捉えており、特別な手法ではなく、ご応募いただく企画の中で来場者との関わりがどう設計されているかを踏まえご記入いただければと思います。

Q. どの程度を対話を設けているとみなすのか。また1対1だけではなく、参加者をグループで活動させる（そこにスタッフが入る）というのは対話にあたるか。

A. 形式よりも、来場者との関わりが企画として意識されているかを重視しています。来場者が受け身になるのではなく、疑問や考えを表現し、それに対して出展者やスタッフが関わるやり取りが生まれていれば、「対話がある」と考えられます。

Q. 「来場者との対話」が審査で重要視されていますが、会期後のレポート等で対話の成果を測るための具体的な指標（付箋の数やアンケートの回答数など）は求められますか。

A. 特にございませぬ。

Q. 団体ではなく、個人名義での出展も可能でしょうか。

A. 可能です。

Q. 複数団体での共同参加は可能でしょうか。

A. 連名での出展は可能です。応募フォームの「出展者の名称」に出展者名として複数機関記入いただいて問題ありません。

Q. 仮に採択された後に出展が出来なくなった場合は、何かペナルティはあるでしょうか。

A. 必ず出展いただける企画にてご応募をお願いいたします。

Q. 応募フォームに「**■キーワード** 企画内容を表すキーワードを3つ以内で記入してください。ジャンル分けやキュレーションに使用します」とありますが、内容のキーワードとして「物理」「宇宙」という分野のキーワードはわかるのですが、「パズル」や「ポスター展示」のようなコンテンツに関連するキーワードも「内容」に入りますでしょうか？

A. 出展のテーマ・内容を表すキーワードをご記入ください。「ポスター展示」等の出展形式や「対話」といったどの企画にも当てはまるような言葉は避けてください。

Q. トークセッション枠の募集は無いのでしょうか？

A. 「トークセッション」と固定した募集枠はありませんが、オープンスペースの企画としてあるいは、ブース内で実施するトークセッションを企画としてご応募いただくことは可能です。

Q. オープンスペースは2枠とってつなげてイベントをやる事は可能ですか？

A. オープンスペースは原則として60分、または90分での実施となり、前後に撤収・準備のための時間があります。また、主催者側で企画実施の場所・時間を決定しますので連続した2枠を利用する事はできません。ただし、1企画（60分または90分）の時間枠に入る内容であればご応募は可能です。

Q. オープンスペースの日時指定ができないとのことですが、13日のみ対応可能な場合でもご相談できないのでしょうか。

A. 日時指定はできませんが、対応困難な日時がある場合は応募フォームの特記事項欄に記入してください。なお、ご要望はお伺いしますが、ご希望に添えない場合がございます。

Q. オープンスペース、ブースと両方に応募することは可能ですか？

A. 可能ですが、応募いただいた企画のうち採択されたすべての企画が実施いただけることが前提となります。また、応募件数を増やしても採択される可能性が上がるわけではございません。

Q. 2日間の出展の場合で、1日目・2日目の出展内容を別にしたい場合は、2企画で申し込むのでしょうか。

A. ブース1企画としてご応募ください。出展内容が1日目・2日目で別にする場合は、その内容が分かるように記入の上ご応募ください。なお、企画タイトルを二つ付けることはできません。

Q. 企画内容についてどの年齢層をメインターゲットにするのが良いのでしょうか。

A. 来場者は年齢層、分野など様々になります。どこをターゲットにするのかは出展者様にて設定いただきご応募ください。

Q. おとしは東京都の小学校に案内をしたとのことで、低学年の子供が多かったところ、昨年はいくつか上の層をねらうということで、JST からの案内の仕方を変えたことと記憶している。説明の p.5 のように小学生以下は 20%にとどまるなど案内方法が違うことによる効果が出ていると感じた。そのような JST としての案内方法の方針は今回特になのか。難易度 2 レベルを想定しているため小学生低学年が多いと伝えたいことと知りたいことが合わなくなるのを危惧している。

A. サイエンスアゴラ 2026 では来場促進にあたり広報・周知について昨年を踏襲して実施する予定です。企画内容と対応する想定ターゲット層、レベル表記についてはご応募いただく方の判断とさせていただければと思います。

Q. ブース内で、個別で参加者へアンケート実施やサンプリング（体験してくれた方への参加賞的なもの、ノベルティなど）は問題ないでしょうか。

A. 可能ですが、生ものや危険物、法令に抵触するもの等を配ることはできません。なお、生もの以外の飲食物の提供がある場合は応募時に申請が必要です。また、アンケートの実施も問題ありませんが、研究データの収集を目的とする場合等は、事前にその説明と同意を得るなど、研究データの不適切な収集行為にあたらぬよう留意してください。また必要に応じて所属機関等の倫理審査等適切な手続きを経た上で実施してください。

Q. 物の販売は可能でしょうか。

A. 企画の内容に関するものは可能です。ただし、営業目的や物販を中心とした出展内容と見受けられる場合は採択に至らない場合があります。

Q. 応募フォームにある「1 リットルを超える水の使用」について、発生した排水の処理設備や捨てる場所は会場側で用意されますか。それとも出展者側で持ち帰る等の対応が必要ですか？

A. 程度・内容等により変わる場合がありますので、使用用途や排水処理方法の希望等を記入のうえご応募ください。

Q. 展示難易度ですが、🦋（トウガラシマーク）1 つから 3 つを参加者の方にどの難易度での説明が欲しいかを聞くというような形式は可能でしょうか。

A. 来場者への対応といった企画内容に含まれるものと考えられますので可能です。ただし、ご応募の際に選択いただくトウガラシマークの数はいずれか一種類となりますので、選択のうえご応募ください。サインボード等に掲載するトウガラシマークは選択いただいたものとなります。

Q. 研究機関内外の倫理審査委員会等における承認手続きについて、もう少し詳しくお教えいただけませんか。

A. 出展企画の内容について、所属する機関内等で倫理審査委員会での許諾等の必要性をご判断いただき、承認を得たうえでご応募ください。

Q. 科学そのものを扱わずとも、科学コミュニケーションで用いられる手法（例えばインタビュなど）を扱う企画は対象となる可能性はありますか？

A. 企画内容につきましては特に制限はございませんので自由にご検討いただきご応募をお願い致します。

Q. 昨年度の採択率を教えてください。可能でしょうか？

A. 採択率は公開しておりません。

Q. 公式サイト「企画一覧」から各出展者独自ページへの導線は、テキストリンクになりますか。それともサムネイル画像などを別途提出してバナー化される形式ですか。

A. テキストリンクになります。公式サイトに掲載するプログラム一覧のテキストから、各出展者様のページにリンクいたします。

Q. 出展者が作成する企画詳細ページに記載すべき項目やルールなどのテンプレートはありますか？

A. 記載いただく項目等については出展者確定後にガイドラインをご案内します。

Q. 企画の詳細ページについて英語ページは必要ですか。

A. 企画タイトル、出展者名は最低限ご用意をお願いいたします。

Q. 独自で作る企画の詳細ページはチラシのようなページでもよいでしょうか。

A. 企画の内容が分かるものであれば問題ございませんが、来場される方にとって分かりやすく、サイエンスアゴラへ行ってみたいと思っただけのように、是非工夫をお願いいたします。

Q. 同じ団体が別企画で複数ブースを確保した場合、ブースの数分 WEB サイトおよび SNS アカウントの作成が必要になりますでしょうか？

A. 同じ団体が複数ブースに採択された場合は1つの企画に対して1つのWEBページを作成してください。SNSについては1つのアカウントで複数のブースを取り上げていただいて問題ありません。

Q. SNS での一斉宣伝について質問です。最近の SNS 等の傾向として、ハッシュタグのインプレッションが下がりやすいアルゴリズムとなっているとの分析もあるかと存じます。今回の宣伝においては、昨年までと変更しない方針のまま問題ないのでしょうか？

A. 近年ほぼすべての SNS で、アルゴリズムは「検索・タグ」中心 → 「レコメンド（おすすめ）」中心となっており、ハッシュタグ単体でインプレッションを伸ばしにくくなっているということは理解しています。ただ、ハッシュタグが無意味になったというより、役割と重みが変わったと捉えており、イベントや、コミュニティ文化が根付いた分野では機能していると考えています。

今年も、出展者様による投稿は、可能な限りサイエンスアゴラ公式 SNS でのリポストにより拡散させていただきますので、投稿にはハッシュタグ #サイエンスアゴラ 2026 を付けていただくようお願いいたします。

Q. 今年の出展レポートの問いの内容は採択が決まってからの案内になりますか？

A. 採択が決まってからのご案内を予定しており、現時点では昨年と同様の内容を想定しております。

Q. 会期終了後 1 週間以内の出展レポートについて、提出フォーマット（Word、オンラインフォームなど）や、文字数の上限などの指定は決まっていますか？

A. 後日ご案内いたしますが、WEB 上で入力いただく形を想定しています。

Q. 出展者で取り組んでいる企画ブースの内容に関連する、別日イベントの告知チラシや案内を配布・設置可能な資料スペースはありますか。

A. 会場内に各出展者様の資料やチラシ等を設置可能なスペースはございません。資料やチラシ等の配布はブース内あるいは企画実施中のオープンスペース内でのみ可能です。また、ブースを離れての呼び込み等他の企画の妨げとなるような行為は禁止しております。

Q. ブースの外側の壁にポスター等を掲示できないとありますが、ブースの内側に自立式のバナーやパネルを設置して視認性を高めることは可能ですか。

A. 可能です。

Q. 搬入搬出は、事前に荷物をお送りして受け取っていただくことは可能でしょうか？また搬出時に段ボールに器材を詰めて、運送業者を自分たちで手配し送ることは可能でしょうか？

A. 可能です。搬入は、運営事務局の案内に従ってください。運送業者を手配いただくことも可能です。詳細につきましては後日出展者マニュアル等でご案内いたします。

Q. 有料物品の「追加電気使用」は最大 1.5kW までとありますが、持ち込み機材の都合で

それを超える電力が必要な場合、事務局への個別相談の余地はありますか？

A. 運営事務局にご相談ください。

Q. 発送する物品の大きさや梱包物数の制限などありますか。

A. 個数が多い場合や大型の荷物になる場合は事前に運営事務局にご相談ください。

Q. 前日の午後の設営は何時ごろから可能ですか。

A. 9/11(金) 午後2時頃からのご案内予定です。午前中は会場全体施工のため、入場できません。

Q. 9/12(土)当日の設営は何時から可能ですか。

A. 午前8時30分頃から会場に立ち入りいただける予定です。詳細な時間については出展者マニュアルにてご案内いたします。

Q. 有料物品の長テーブルの金額を教えてください。

A. 長テーブルは下記2種類用意がございます。なお、内容・価格は変更になる可能性がございます。

①W1,800mm×D600mm×H730mm ￥3,850

②W1,200mm×D600mm×H730mm ￥3,300

Q. 有料物品の13番の、液晶ディスプレイを借りることを検討しております。高さがかわかればお教えいただきたいです。

A. モニター部分の高さは約1,700mm程度を予定しております。ご要望がある場合は、運営事務局へお問い合わせください。

以上